

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">宗教学講読 A</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部文財2回生 人間人社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">貫名 讓</p>
<p>授業テーマ</p> <p>聖徳太子の仏教観にふれる</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>聖徳太子は、和国の教主（日本の釈尊）と呼ばれています。日本に仏教が伝来したのは6世紀の半ばであったとされていますが、純粋に信仰の対象としての仏教が展開していくのは、聖徳太子の登場を待たなければなりません。聖徳太子が仏教の歴史上、どれほど偉大であったかは、現在においても、宗派を越えて太子信仰というものがあることが、その影響力の大きさを物語っていると思います。</p> <p>授業の中では、聖徳太子の思想を、いろんな方面から捉えてみたいと思います。</p>		
<p>評価方法</p> <p>レポート試験（50%）、出席状況・授業態度（50%）、総合評価で行います。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">最初の授業時に紹介します</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめに ② 「仏教」って何？ ③ 日本に仏教が伝わった頃の様子 ④ 聖徳太子と、彼を取り巻く人々との関係 ⑤ 聖徳太子の目指したもの ⑥ 聖徳太子の仏教観1（十七条憲法） ⑦ 聖徳太子の仏教観2（法華経義疏） ⑧ 聖徳太子の仏教観3（勝鬘経義疏） ⑨ 聖徳太子の仏教観4（維摩経義疏） ⑩ 聖徳太子の残した言葉（天寿国繡帳） ⑪ 伝説と真実 ⑫ 聖徳太子が及ぼした影響 ⑬ まとめ1 ⑭ まとめ2 ⑮ レポート試験 		